



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2014~2015年度 主題 ==

- 国際会長【Talk Less, Do more : 言葉より行動を】 Isaac Palathinkal (インド)
- アジア地域会長【Start Future Now : 未来を始めよう。今すぐに】 岡野泰和 (大阪土佐堀)
- 東日本区理事【With Pride and Plesure : 誇りと喜びを持って】 田中博之 (東京)
- 北東部部長【「一体となって一歩前に」 一楽しく、楽しく、楽しくー】 大久保知宏 (宇都宮)
- クラブ会長【心一つに一丸となって、ともに歩む仲間を増やそう!】 南澤一右 (仙台青葉城)

VOL. 380

2015年03月

強調月間：「BF/BF 基金・TOF/断食のとき」

<今月の聖句>

目はからだのあかりである。だからあなたがたの目が澄んでおれば全身も明るいだろう。

(マタイによる福音書第6章22節)

『 BF と TOF の月によせて 』

国際交流事業委員長 金原 護

BF とは Brothers Fund の略でワイズ活動の一つのプログラムであります。使用済み切手を集め換金して東日本区に捧げ活動資金にするのですが、近ごろパソコンの普及により手紙をあまり扱わなくなったので年間の目標金額を現金で納入し切手を集めなくなっております。しかしこれはワイズ活動の原点ということでわがクラブでは使用済み切手を集めております。

TOF というのは TIME OF FAST の略で日本語にすれば“断食の時“という意味で毎年2月をTOFの月と定め、例会の食事を一回抜き換金してワイズ活動に捧げるということで毎年2月の第一例会をあてている訳です。小生も、一度食事なしの生活をやって食事を三日抜いてみようと思ひ友人の病院で断行したのですが、三日目の朝になると井とかマグロの寿司、焼き肉とかが目に浮かび、幻想が激しくなり、先生からこれはまずいということでドクターストップがかかり中止してしまいましたことがあります。

世界中に満足に食べ物のない子どもたちがたくさんおりますが、この苦しみを年中味わっている人々がいることを思い、よい体験となりました。

ワイズならではの活動ですのでどうぞご協力くださいますようお願いいたします。



使用済み切手整理 (2013年2月例会)

2月例会				B F		スマイル	
会員数	14名	メネット	3名	切手	0 kg	今月	24,500円
出席者	11名	ゲスト	14名	現金	10,000円	累計	106,814円
Make-Up	2名	出席率	92%	累計	,10,000円	ファンド	131,314円

- 会長 南澤 一右
- 副会長 遠藤 勝志
- 書記 車塚 潤
- 会計 菊地 弘生
- 直前会長 南澤 一右
- メネ会長 加藤 真子
- 担当主事 青木 絵美

国際標語：「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」

2月創立35周年記念例会報告

日時 2015年2月19日(木) 18:45~20:45

場所 仙台YMCA203・サービス実習室

出席者 青木(絵)、青木(ま)、遠藤、尾木、加藤、菊地、岸田、佐藤(あ)、清水、南澤、涌澤

<メネット>池田、加藤、金原 【ゲスト】松本西日本区理事【仙台YMCA】村井伸夫、堀越祥浩【仙台クラブ】中川会長、横倉、吉田【仙台広瀬川クラブ】門脇会長、伊勢、加藤、菅野、佐藤(善)【もりおかクラブ】井上修三・優子

<第一部> 記念例会 司会：遠藤勝志

会長挨拶：節目を迎えるに当たり創立時メンバーへの感謝を述べ30周年記念誌を紹介する。



記念例会ゲストスピーチを「西日本区の現状と東日本大震災被災地を視察して」と題し、松本西日本区理事よりお話を伺った。入会は、キャンプに参加した娘さんがきっかけでYMCAを好きになったことや、

メネットが先に入会したこと等を紹介される。

現在は、被災地支援を柱にして活動を行っています。2月19日は岩手、翌日は仙台と現地を視察して判ることは、自らが力を付けられるような支援は、ワイズを活かしながら行動することだと思います。ワイズメンズクラブ運動とは、YMCA支援や困っている方々への奉仕活動です。交わって活動するワイズの行動は、喜びを分かち合え、響き合いながら共に歩いていくことだと思います。2014年7月西日本区現勢は1600人を切りました。そこでクラブでは推進チームを組織し、100人例会を発足しました。地域に求められるCSの在り方、部会等の交流会を楽しくする工夫、その中で、入会の機会



を作るようにしています。バナーセレモニーにおいて会長紹介が少なくなっている。しかし、紹介することが大事です。理事になって知ったことは、地方のクラブには地域密着型のクラブがあるということです。その中で、金沢クラブのようにYMCAを支えていることに共感し、仲間となることがあ

りました。最後に、2015年7月アジア大会をサポートする京都が中心になって800人の参加を見込んでいます。6月13日~14日の西日本区大会への参加もお願いします。

<第二部> 祝会

司会：涌澤 博



仙台クラブ中川会長(次期北東部長)と仙台YMCA総主事村井様よりご祝辞をいただいた。

チャーターメンバーの金原メン・池田メンへ記念品の贈呈とメネットへ



も感謝の花束を贈呈(写真)。お二人からの祝辞を頂き、聖句朗読とお祈りをし、乾杯・会食歓談へと移りました。皆様からの多大なお祝いのお言葉を賜り、節目を迎えたことに感謝を申し上げます。仙台青葉城クラブ一同は、これからもより一層ワイズ活動に精進して参りたいと思います。(菊地)

3月第二例会報告

日時 2015年3月5日(木) 18:45~20:45

場所 仙台YMCA会議室203

出席者 青木(絵)、尾木、加藤、菊地、佐藤(あ)、清水、南澤、涌澤、加藤・金原メネット

開会点鐘・会長挨拶

南澤一右

議事

司会 佐藤あつ子

1. 3月第一例会の確認

2月例会で行われる予定であったTOF/BFの月を3月例会で行う。各自ハサミと整理済み切手、おにぎりを持参する。

2. CS、BF、ASF、TOF 献金納付について

各自3,000円を目標に徴収する。

3. 揚がれ!希望の凧2015 In 仙台参加者の確認

3月8日(日) 13:30~15:30 於: 仙台市牛越橋緑地運動公園にて開催する。

4. 姫路グローバルクラブ被災地支援ワークとDBC

交流会への参加者確認について(3月20日～21日)

姫路グローバルクラブからの参加者は12名、当クラブより8名の予定。3月20日、交流会(18:30より、於:集合郎)

5. 那須クラブ設立20周年記念例会への参加者の確認について

遠藤、加藤メン・メネットが参加する。

6. 第18回東日本区大会(6月6日～7日)の登録および移手段について

①参加者:涌澤、加藤、菊地、南澤、加藤メネット、金原メネット、清水

②物品等販売出店の申し込みについて

被災地支援物品販売と石巻広域新クラブ設立への支援と合わせて実施する。

7. 盛岡YMCA宮古ボランティアセンター支援の輪を広げる呼びかけについて

西宮クラブからの呼びかけについて、協議するが、よく内容を調査して今後対応することになった。

8. 3クラブ合同委員会からの報告(菊地)と要請
揚がれ!希望の凧上げ、国連防災世界会議フォーラム・ウオークラリーへの参加協・協力要請。

9. YMCA報告(青木担当主事)

①タイワークキャンプ無事帰仙の報告

②ボランティア感謝会の実施(3月13日)

③新年度のバザーの実施(6月14日(日))

閉会点鐘

会長 南澤 一右

メネット会より

メネット会長 加藤 真子

3月14日(土)国連世界防災会議に伴う、西公園でのウォークラリーに参加した方々へ飲み物とお菓子のサービスを、仙台3クラブのメネットでお手伝いをする事となり、青葉城からは金原メネットが後半より参加、南澤メネットも参加いただく予定でしたが急遽欠席、仙台クラブと広瀬川クラブのメネットが主となってお手伝いいただきました。(写真)



3月13日、南澤会長のかおりメネットのお母様が亡くなられ、メネット会より気持ちだけですがお悔やみを届けてまいりました。

次期会長・新役員研修会に出席して

メネット委員長 加藤真子



3月7日～8日の2日間、次期メネット委員長が決まらない現状を抱え、次期会長・新役員研修会に出席するため東山荘に行っていました。

東山荘に出かけるのは今回で2度目。東西に分かれる前の日本区大会で、当時小学生の息子を連れて行った記憶がありますが、あれから10数年の時がたつて今回が2度目の東山荘でした。

かなりタイトなスケジュールで、人身事故のため到着が遅れたため、いきなり研修となり、各部を10分という制限時間でまわりながら、メネット委員会の活動の報告、メネット会が大変少なくなってきている現状、メネットの活動への理解等をお話ししてきました。“そろそろ時間です”、と合図をもらって次の部屋へ移動、そしてまたお話し・・・、と終わった時はかなり疲れましたが、全体の中で話すより、少人数の部の中での話し合いですので、顔が近くで見え、率直な意見をいただき、メネットの現状が厳しいものであるということを感じたりもしましたが、これまでメネットの活動にまで思いが行かなかったというメネット会のない部から、今後の理解と協力的な話をいただき嬉しい思いもしました。夕食後も各部長を囲んでの部屋ごとの研修となり、私は北東部の部屋で中川次期部長を囲み大変活発(お酒も入って、大変賑やかで愉快!)な意見が飛び交う有意義な時間を持ちました。会津の高橋京子さんから語り部としての大変胸に詰まるお話しをお聞きしたことも心に残り、そして夜は二段ベッドで熟睡!翌日も国際・アジアエリアの現状や、役割、手続、会計等細かい研修を受け、その後の分科会等を経て閉会。毎年、こうして共に研修し、知識と絆を高めていたのだと初めて体感してきました。その後、私一人別行動となり、関西～成田～東京クラブのメネットナイト出席と、4日間大忙しでしたが充実した日々となりました。それにしても次期メネット委員長が早く選出できますことを祈っています。



東日本大震災支援活動関連報告 2015年3月号

▼ 松本西日本区理事被災地を訪問

2月18日～21日までの4日間、大阪より宮古市を經由して盛岡に一泊、仙台に2泊の強行スケジュールの中、被災地を訪問された。20日、石巻では東京世田谷クラブの歌声広場一行とも合流、仮設住宅の方々との交流がありました。夜には仙台3クラブの有志と、石巻の歌声広場にも参加した奈良元アジア会長、その知人で神戸から来仙したボランティア代表との交流会に参加された。翌日は、仙台近郊の閑海岸や復興事業が進む空港周辺の被災地を視察し、21日帰阪された。

▼ “揚がれ！希望の風 2015 In 仙台”の開催

東日本大震災から満4年を迎えて「私たちは被災地の方々のことを忘れてはいません！」のテーマの下、犠牲になられた方々の冥福と一日も早い復興を祈り、3月8日、仙台市広瀬川牛越緑地公園運動広場で震災後4回目の希望の風上げ会を、仙台3ワイズメンズクラブと仙台YMCAの共催で実施しました。



当日午後、時折小雨の降るなかでしたが、子どもから大人までワイズメンズクラブとYMCAに連なる40名の方々の参加がありました。参加者の中には震災後支援対策室がリフレッシュキャンプ支援を続ける白石市立越河小学校の保護者と子どもさんが見えました。午後1時半よりそれぞれが白紙に思いのメッセージを書いてスタートし、2時46分には、参加者全員が集まり、村井総主事より聖句朗読、メッセージ、お祈りをいただき黙祷を捧げました。



▼ 国連防災世界会議においてシンポジウムと防災ウォークラリー体験会を実施

3月14日より開催された第3回国連防災世界会議

は187の国や地域から延べ15万人もの人が参加して19日未明に閉会した。公益財団法人仙台YMCAと日本YMCA同盟が主催、ワイズメンズクラブは東西日本区の支援を得て下記のパブリック・フォーラム「市民協働と防災」の企画事業に参加した。

● シンポジウム「災害から尊い命を守るために」

頻発する自然災害で「子どもたちが自分の命をどう守るか」、自分で考え、行動する力が必要とされています。シンポジウムには、一般市民、ボランティア関係者、日本各地からの防災に関心あるユース、ワイズ、YMCA関係者など約90名の参加があった。基調講演は早稲田大学大学院客員教授の西條剛央氏、東松島市矢本第二中学校教諭で大川小学校の保護者でもある佐藤敏郎教諭、横浜YMCA大塚英彦氏により、「子ども達に何を伝えるべきか」をそれぞれの体験を通しての発題があり、参加者と講演者との活発な質疑応答があった。



● 体験！「防災ウォークラリー」

午前のシンポジウムに続き、午後は会場を仙台YMCA立町会館と仙台市西公園に移し「防災ウォークラリー」を実施しました。一般市民、マスコミ関係者、大学生、YMCA・ワイズ関係者30余名が参加しました。講師は大塚英彦氏、横浜YMCAが運営する三浦ふれあい村で実践するプログラムを体験できました。最初にYMCAで事前の説明があり、会場を西公園に移し、参加者を6グループに分け、西公園を津波の襲来場所に想定して、咄嗟の時、自分の命を守るためにいかに判断し、行動を起こすかを全員で体験しました。自分は想定外の災害や場面に遭うことはないとの先入観の打破、それが防災への第一歩であることのYMCAからの貴重なアピールの機会となった。(↓西公園でのウォークラリー)



▼「東日本大震災支援活動」写真展の開催

3.11 大震災発生直後から現在までの支援活動の～4年の歩み～の写真展を国連防災世界会議に合わせてYMCA立町会館1階ロビーで一週間展示し、一般公開しました。(下記写真) YMCA石巻支援センター、仙台YMCA支援対策室とワイズメンズクラブ仙台3クラブ実行委員会の支援活動を対象とし、その活動を記録した写真総数は210枚を超える展示となりました。期間中、仙台YMCAを訪れるプログラム関係者、ワイズや国連防災世界会議に参加するユース等が熱心に見入っていました。



▼ 投稿 「あれから4年そして未来へ」

大阪西クラブ会長 畠平 雅生

エッ、80人例会を再開する？松本区理事のホームとして・第18回西日本区大会のホストクラブとして多忙を極めていた昨年秋、事情を知るホテル支配人の驚きの声からチャリティビオラコンサートの準備が始まりました。80人例会再開の理由は幾つか。第一に松本理事の被災地支援の一助に。92歳のメン



バーが母親に抱かれた思いがしたビオラ演奏をもう一度の要望に応じて。それより阪神大震災後の4年経過時、震災で業界が様変わりし、多額の借入金も底を付き、精神的にもどん底で廃業もままならない破産状態だった当時の私。最も辛かったあの時を持つ今、同じ状態の方々が多いのでは？正念場と思われる今こそ皆様へ寄り添う気持ちを新たに持ち続ける時では？私の勝手な思いを受け止め、応えたクラブの仲間達。会場を溢れさせた参加者の皆様。そして素晴らしい演奏者と選曲。全てが結集した例会でした。(写真)

私が思いを深めたのは、昨年の晩秋に清水弘一メンと訪ねた気仙沼・地福寺の「鎮魂の森」の訪問です。樹齢120年の被災杉樹に刻まれた昇り龍の力強い彫刻。



(右写真) 皆様への鎮魂と未来へ向かう勇気と希望を表す象徴として感動の内に見せて頂きました。今後も機会を見つけ、微力ながら慰霊の念と皆様方の未来に寄り添ってお伺いしたいと存じます。

<ニュース&トピックス>

▼2016-2017 年度国際会長にカナダのジョアン・ウィルソン(Joan Wilson)さんが就任

2010年8月に開催された第69回横浜交際大会の後同じメンバーと共に仙台に寄られ、帰国前日市内で一緒にメンバーが負傷入院、介護のためしばらく仙台に滞在し交流ができたワイズウィメンのジョアンさんがこのたびの国際役員選挙で次々期国際会長に選任されました。この喜びをクラブ一同で共有し、声援を送りたいと思います。

国籍：カナダ

クラブ：オタワ・インターナショナルクラブ

年齢：62歳、職業：元小学校校長

ワイズ歴：1992-1995年の日本滞在中は東京インターナショナルファ

ミリーワイズメンズクラブ(TIFYS)のメンバー。

2011-2013年度カナダ中央区理事、2013-2015年度カナダ・カリブ地域選出国際議員、カナダ・カリブ地域会長。2012-2015年度STEP For All タスクフォースメンバー、共同委員長



4月第一例会のご案内

日時 2015年4月16日(木) 18:45～

場所 仙台YMCA203/仙台市西公園

内容 ①仙台西公園の今年の桜の開花は例年より早いと予想されますので、ご一緒にお花見を楽しみたいと思います。(詳細は第2例会で決定)
②石巻広域新クラブ設立支援のためにも“YES”基金にご協力ください。(500円以上)



東日本区ニュース 第7号 (抜粋)

▼東日本区理事メッセージ (理事:田中博之)

まもなく3.11から4年が経過しようとしています。東日本区の多くのクラブが、街頭募金、チャリティーコンサート、あるいは「歌声」等での被災地訪問など、継続してワイズらしい被災者支援、復興支援に務められていることに深く敬意を表します。「選択と集中」を今期の取り組み方針として掲げさせていただいていますが、多くのボランティア団体が被災地支援活動を終え、あるいは縮小している中で、東日本大震災の支援活動は今、まさに、ワイズメンズクラブが集中して取り組むべき最大の課題のひとつと考えます。未だに23万人の方が避難生活を余儀なくされています、現地の産業の復興は著に著いたばかりです。引き続いての、あるいは近頃はあまり取り組まれていないクラブはどうぞ再び、クラブの特色を活かした支援活動をよろしく願いいたします。



仙台YMCAニュース

1. ユースボランティア感謝会並びに春季委嘱状およびボランティア認証状授与式実施報告

3月13日(金)に4階ホールに於いて、ユースボランティア感謝会が行われました。レイパーソン6名を含め30人程の参加者とともに楽しいひと時を過ごしました。今年も多くユースリーダーがYMCAから社会に巣立ちます。皆様から頂いた暖かい励ましのお言葉に感謝いたします。また、新しく仲間となるリーダーたちへの委嘱状授与式も行われました。当日の欠席リーダーも含め今季は、4名の学生が委嘱を受け、20名がボランティア認証状を受けました。(↓写真)



2. 今後の予定

- 4月11日(土) YMCAホテル専門学校入学式
- 4月11日(土) YMCA幼稚園入園式
- 5月09日(土) 加茂保育園10周年記念礼拝
- 5月30日(土) 会員総会、110周年記念式典
- 6月14日(日) 仙台YMCAバザー

<第18回東日本区大会>

- ①日時 6月6日(土)
～7日(日)
- ②場所 厚木市文化会館
- ③登録受付〆切日は4月15日(水)です。
- ④当クラブの申し込みは加藤重雄ワイズまでお願いします。



< HAPPY BIRTHDAY >

- ・3月02日 青木まりえさん
- ・3月23日 涌澤寿美江さん
- ・3月30日 車塚 博子さん

クラブ・今後のスケジュール

- 4月02日(木) 仙台青葉城クラブ記第二例会
- 4月03日(金) 仙台3クラブ実行委員会
- 4月04日(土)(仮) 石巻広域クラブ設立準備会
於：石巻センター、17時～
- 4月11日(土) 名古屋グランパスクラブ(宮古)
- 4月12日(日) // (宮古～久慈～花巻)
- 4月18日(土) 北東部評議会(宇都宮・13時)
- 4月25日(土) 阪和部被災地訪問
- 4月26日(日) //
- 5月08日(金) 中西部被災地訪問
- 5月09日(土) //
- 5月09日(土) 加茂保育園10周年記念礼拝
- 5月21日(木) 仙台青葉城クラブ第一例会

< 編集後記 >

▼第3回国連防災世界会議 In 仙台が3月14日から19日未明まで、187の国、国内外より延べ15万人もの参加で開催された。YMCAからは東日本大震災支援活動の教訓をもとにパブリック・フォーラム「市民協働と防災」の企画事業に参加した。「子どもが自分の命をどう守るか」をテーマにシンポジウムと「体験！ウオーラリー」を実施した。予想を超える参加者とマスコミにも取り上げられ、大きな反響を得た。開催に際して東西日本区よりご支援をいただき感謝申し上げます。

▼3月はいろんな所で巣立って行く子供達の姿が見られます。過日、YMCA卒園式があり、全国のワイズが3年間支援を続けた2人目の園児が元気に卒園しました。ご両親より「ワイズの皆様より多大なるご支援をいただいた事を心に刻み、今度は私共ができることを新転地でやっていきたい。」と挨拶されました。(弘)